

# 製品安全データシート

## 1 製品及び会社情報

製品名 再生ポリ塩化ビニルコンパウンド IVP1106  
会社名 インバースプロダクツ(株)  
住所 〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 672-4  
担当部門 事業開発部  
担当者(作成者) 松村 順也  
電話番号 047-450-9460 FAX 番号 047-459-0242  
緊急連絡先 03-3538-1712 (リファインバース株式会社)  
整理番号 IVP0003

## 2 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

名称・成分および含有量	官報公示番号	CAS No.	労働安全衛生法	化管法
ポリ塩化ビニル 含有量 26-30 重量%	6-66	9002-86-2	該当しない	該当しない
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) 含有量 20-24 重量%	3-1307	117-81-7	施行令第18条の2 (MSDS対象物質)	第一種指定化学 物質-272
炭酸カルシウム 含有量 46-54 重量%	1-122	471-34-1	該当しない	該当しない
ポリアミド6 含有量 0-4 重量%	7-357	25038-54-4	該当しない	該当しない
ポリアミド66 含有量 0-4 重量%	7-382	32131-17-2	該当しない	該当しない

※含有量は標準値です。

## 3 危険有害性の要約

分類の名称 分類基準に該当しない  
危険性・有毒性 自己消火性であるが、燃焼、熱分解の条件等により一酸化炭素、二酸化炭素や、刺激性のある塩化水素ガスなどの有害性成分を発生することがある

環境影響 ポリ塩化ビニル及び炭酸カルシウムは知見なし。フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)は、人にとって重要な食物連鎖において、生物濃縮が起こる\*1

## 4 応急措置

吸入した場合 粉末を吸入した場合には、鼻腔や口腔を清水でよく水洗する。異常を感じるような場合には医師の手当を受ける。燃焼ガスを吸引した場合には被災者を新鮮な空気のある場所に移し、咳や呼吸困難やその他の症状が出たときは、医師の手当てを受ける

皮膚に付着した場合 石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。溶融したコンパウンドが皮膚に接触した場合には、素早く水で冷やすなど、通常のやけどと同様に処置する

目に入った場合 直ちに眼球を傷つけないように流水で十分に洗眼する。異常を感じるようであれば眼科医の手当を受ける

飲み込んだ場合 多量に飲み込んだ場合はできるだけ吐きだし水で良く口の中を洗浄する。異常を感じるようであれば直ちに医師の手当を受ける

## 5 火災時の措置

消火方法、 空気呼吸器及び保護眼鏡を着用して消火作業に当る。火元への燃焼源を遠ざけ、風上から消火剤を使用して消火する  
延焼のおそれがないように散水して周囲のタンク、建物等の冷却につとめる  
適切な消火剤 散水、ドライケミカル、泡  
その他 燃焼すると刺激性のガスが発生する。その主成分は塩化水素ガスである

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意 当事者以外の人は近寄らないこと。火気を遠ざけて、粉末を吸入しないよう、眼に入らないよう、又皮膚に付着しないように保護衣、保護メガネ、保護手袋、防塵マスク等を着用して処置する  
環境に対する注意 環境中に排出しないように速やかに回収処置すること  
除去方法 こぼれた粉末等は保護手袋、保護メガネや保護衣を着用して速やかに容器に回収する  
二次災害の防止策 回収時に微粉末が大気中に飛散しないように、又水域に散逸しないようにする  
また、作業者に付着しないよう、作業者が吸入しないようにする。多量に付着した脱衣をそのまま再度着衣しない

## 7 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意 作業場所あるいは保管場所でみだりに火気を使用したり飲食してはならない。また静電気の発生防止および除去に留意する  
保管上の注意 直射日光を避け換気の良い場所に保管する。未使用の余残分も周りに流出しないように密閉式の容器に入れて保管する。また保管場所でみだりに火気を使用したり飲食してはならない

## 8 暴露防止及び保護措置

設備対策 できるだけ粉末が飛散しないような取扱い設備とし、換気をよくして、かつ作業時には飛散しないよう十分に注意して作業する  
保護具の使用 取り扱いに際しては、保護衣、保護帽、保護メガネ、保護手袋、防塵マスク等を着用する  
衛生対策 洗眼器や洗浄可能な設備等を備えた水洗設備を設置する  
許容濃度 当該コンパウンドは知見なし。ただし、ポリ塩化ビニルは知見なし。炭酸カルシウムはACGIH 2001：TLV：10 mg/m<sup>3</sup>(TWA)（アスベスト不含、結晶性シリカ1%未満の微粒子）\*1。炭酸カルシウムは健康への影響は調べられているが、知見なし\*1。フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）はACGIH 2001：TLV：5 mg/m<sup>3</sup>(TWA)\*1

## 9 物理的及び化学的性質

形状 約500～1000ミクロンの固体粉末  
色 灰色もしくははねずみ色  
におい 微臭  
沸点、 融点 ー  
引火点、 自己消火性であるが、参考までに各成分の引火点を示す。フタル酸ビス（2-エチルヘキシル） 215°C\*1、2、ポリ塩化ビニル 390°C\*3、炭酸カルシウム 不燃性  
発火点 常温では発火しないが、参考までに各成分の発火点を示す

	フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）	350°C*1、2、
	ポリ塩化ビニル	455°C*3、
	炭酸カルシウム	不燃性
軟化点	—	
爆発性	なし	
蒸気圧、	—	
嵩比重	0.432g/cm <sup>3</sup>	（代表的実測値）
密度	1.83g/cm <sup>3</sup>	（代表的実測値）
溶解性(水)	水には溶解しない	
（溶剤）	テトラヒドロフランに溶解する。	ただし炭酸カルシウムは溶解しない。

## 10 安定性及び反応性

安定性	常温では安定である自己消火性
可燃性	酸素指数約45の自己消火性樹脂であるが、火気を近づけない
酸化性	通常は安定である
粉塵爆発性	しない
反応性	通常は安定である
避けるべき条件	保存中は高温にさらさない
避けるべき材料	強酸化剤、酸、アルカリ、有機溶剤類
発生する有害性の ある物質	一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素ガス

## 11 有害性情報

粉末を吸入したり、経口摂取をすると眼や気道を刺激することがあるので適切な保護具を着用する

## 12 環境影響情報

分解性	知見なし
蓄積性	知見なし
魚毒性	知見なし
生態毒性	知見なし
環境中での分解性・移動性、生物への蓄積性	当該混合物の成分の一つであるフタル酸ビス（2-エチルヘキシル）は、人にとって重要な食物連鎖において、生物濃縮が起こる*1と云われているので大気、水域や土壌等の環境中に排出しないこと
環境基準	知見なし

## 13 廃棄上の注意

廃棄の方法	廃棄物の処理および清掃に関する法律にしたがって処理する
廃棄する上で遵守すべき法令	廃棄物の処理および清掃に関する法律

## 14 輸送上の注意

容器破損及び荷崩れ防止に注意する

## 15 適用法令

労働安全衛生法施行令第18条—2に該当  
 化管法 第一種指定化学物質に該当（政令番号272）

## 16 その他の情報

- 引用文献
- 1) 国際化学物質安全性カード (ICSC CARD) (国立医薬品食品衛生研究所等)
  - 2) 環境省ホームページ : PRTR 法指定化学物質有害性データ
  - 3) 伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会 P.110、116 (1980)
  - 4) 塩ビ工業・環境協会 製品安全性データシート
  - 5) Vermont SIRI MSDS Index
  - 6) The Merck Index 12<sup>th</sup> ED. : Merck & Co. Inc (1996)

その他 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいておりますが、物理化学的性質、危険性等  
に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたもの  
で、特殊な手扱いの場合には、用途用法に適した安全対策を施してご利用下さい。

改訂記録 制定 平成21年 7月 1日

COPY